

全人教育で学力向上

「星陵中学・高等学校」

今年も残り少なくなり、世間は年末の気ぜわしさと共に、新年の準備に追われる毎日となる。受験生にとっても、最後の追い込みの時期となり、私立中学志望の小学生にとっても、地元星陵中学の入

立高校生気優先県」と言われているが、近年は様相が変わってきている。その要因の一つとして私立高校の中学校併設による「中高6

立高校生は第8期生となる。星陵高校英数科中高一貫コースの卒業生1、2期生は、東京医科歯科大・東北大・北海道大・筑波大・千葉大・東京工業大・名古屋大等の旧国

立1期校はじめ浜松医科大学・横浜国立大・静岡大等の難関国立大及び早稲田大・慶応義塾大・上智大・東京理科大学・国際基督教大等の有名私立大学等に合格を果たしており、特に1期生（理系）は4割近い卒業生が医学・歯学・薬学部へ進んでいる。

短期間に成果を上げた裏には、星陵中学・高校の「本質を見抜く力」を育てる美育教育プログラムで、多くの美育行事を通じて豊かな心とたくましく生きる力を育成する教育方針と、生徒・家庭・学校が三位一体となって目標を目指す環境作りと教員の熱意があり、バイオメタングスの研究で環境大臣賞をはじめ多くの賞を受賞するなど、得点至上に片寄らない「全人教育」の成果が結果として、学力向上に結び付いている。

中高6年一貫教育の成果に注目

も、地元星陵中学の入試説明会が12月8日に開催される等、志望校の決定と合格に向けての対策には、家族や学校の協力も不可欠のものとなる。静岡県は全国的にも少ない「公

年一貫教育」の成果実績が挙げられる。県東部地区の私立高校も半数以上が中学校を併設し一貫教育に取り組んでいる。富士学区の私立高校2校も中学校を併設し、成果を上げて

在の1年生は第8期生となる。星陵高校英数科中高一貫コースの卒業生1、2期生は、東京医科歯科大・東北大・北海道大・筑波大・千葉大・東京工業大・名古屋大等の旧国

立1期校はじめ浜松医科大学・横浜国立大・静岡大等の難関国立大及び早稲田大・慶応義塾大・上智大・東京理科大学・国際基督教大等の有名私立大学等に合格を果たしており、特に1期生（理系）は4割近い卒業生が医学・歯学・薬学部へ進んでいる。

短期間に成果を上げた裏には、星陵中学・高校の「本質を見抜く力」を育てる美育教育プログラムで、多くの美育行事を通じて豊かな心とたくましく生きる力を育成する教育方針と、生徒・家庭・学校が三位一体となって目標を目指す環境作りと教員の熱意があり、バイオメタングスの研究で環境大臣賞をはじめ多くの賞を受賞するなど、得点至上に片寄らない「全人教育」の成果が結果として、学力向上に結び付いている。